

## パネルディスカッション

## ~豊田市都心交通ビジョン~









パネリスト 北沢 猛東京大学大学院 教授



パネリスト 宗田 好史 京都府立大学 助教授



パネリスト 森川 高行 名古屋大学大学院 教授



パネリスト 河木 照雄 豊田商工会議所 副会頭



パネリスト 渡邉 浩之 トヨタ自動車(株) 技監



パネリスト 鈴木 公平 豊田市長



コーディネーター 太田 勝敏 (財)豊田都市交通研究所 所長

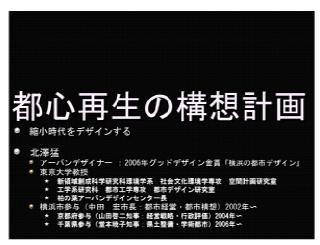


## (太田所長)

12 時 30 分までという短い時間ですが、都心ビジョンを中心に豊田市の都心がどうあるべきかということについて先生方のご意見をいただければと思います。

3つのテーマに分けています。最初に、自己紹介を兼ねて、豊田市に対する思いや豊田市との関係についておっしゃっていただいて、その後、都心ビジョン全体についてのご意見やお考えをいただきたいと思います。最後に、交通関係、その他ということでご意見をいただきたいと思います。

早速、北沢先生からよろしくお願いいたします。 (北沢教授)



おはようございます。今日のシンポジウムは大変珍しい早朝からの開催です。今朝は5時過ぎに起きまして、まだ暗い中、東京から参りました。新幹線の中で夜明けを迎えながら、豊田の夜明けも近いのだろうと思って参りました。自己紹介も兼ねてということですので、私が経験してきたものを紹介しながら、豊田に対するメッセージということで進めたいと思います。

豊田との関係は、一昨年まで東大で一緒に研究教育をやっていた太田先生から声をかけていただいたことがきっかけです。私自身は、都市づくり、特にアーバンデザインを専門にしています。横浜市の職員として 20 年ほど実務も経験してきました。現在は横浜市の参与ということで、都市の経営などにも参画しています。

具体的には、こちらの映像にあるような広場を つくったり、市民の生活にかかわる場所、空間の 質を向上させる。あるいは、横浜の個性を象徴す るような場所をつくろう。それから、横浜が持っ ている歴史・文化を生かしていこう。それから、







